



第31代理事長  
**鈴木 高明**

- 副理事長  
山本 恒夫  
深澤 幸弘  
鍋田 勝久  
江原 弘義
- 専務理事  
小泉 博
- 事務局長  
早田 秀登
- コミュニティ委員長  
高橋 澄夫
- アカデミー委員長  
小堀 義幸
- フレンドシップ委員長  
茂呂 祐助
- 交流開発委員長  
赤間 透
- 文化財パトロール隊長  
川島 孝夫
- マラソン特設委員長  
福田 康男
- 30周年実行委員長  
大津 輝男
- 監 事  
木嶋 章  
星野 隆夫  
斎藤 茂夫

【スローガン】  
**新たなる運動起点を開発し  
創りあげよう地域新時代**

○会員数 89名  
○年会費 100,000円

1988年の基本方針としてActive Transformation＜能動的変身＞が掲げられた。これは自発的に社会変化に対応し、時流にあった自分に、家庭に、会社に、そして青年会議所に今のものから変化させていくことを意味するものであった。

この年の9月25日、足利青年会議所は創立30周年記念式典を開催し、25周年以降、毎年展開してきた運動の具現化である「足利未来倶楽部設立」の提言を行うにいたった。記念事業のパネルディスカッション、式典内での提言には内外から反響があり、「まちづくり先進LOM」の自信と責任を痛感させた。この年を振り返って見ると、まさに基本方針Active Transformationを実現すべく、前年度までの活発な議論で交わされたビジョンを踏まえ、足利JC変身の1年目として対外的にも誇れる良いスタートがきられた。運動ベクトルの方向性を明示すると共に、その後の足利JCの活動の大きな起点となった年であったといえる。



足利JCの主な出来事

- ◆創立30周年「足利未来倶楽部」設立を提言
- ◆イタリア視察
- ◆J R足利駅前掲示板及び花壇の作成
- ◆斎藤茂夫君、両毛6JC第18代会長となる
- ◆田中税務署長との勉強会
- ◆中橋通りへのひまわり植樹
- ◆さわやか健康マラソン大会



足利市の主な出来事

- ◆小俣町と松田町を結ぶ「猪子トンネル」が開通
- ◆J R足利駅の開業100周年を祝い市民の集いが行われる
- ◆情報公開制度がスタートした
- ◆渡良瀬河川公園中橋緑地の整備事業が完成



渡良瀬河川公園中橋緑地が完成



猪子トンネルが開通

この年の代表的なニュース

- ◆ソウルオリンピック
- ◆リクルート疑惑
- ◆潜水艦と漁船が衝突（なだしお事故）
- ◆瀬戸大橋が開通
- ◆青函トンネルが開業
- ◆天皇陛下の病状悪化に伴い「自粛」が相次ぐ
- ◆マル優廃止
- ☆流行語  
「言語明瞭、意味不明」、「オバタリアン」、「渋カジ」
- ☆流行歌  
・乾杯（長瀬剛）  
・パラダイス銀河（光GENJI）  
・ふたり（少年隊）  
・酒よ（吉幾三）  
・MUGO・ん…色っばい（工藤静香）